

パブリック・コメント制度による

「富士市文化推進基本計画（案）」

に対する意見募集の結果について

1 意見募集の概要

- (1) 意見募集方法 ①富士市ウェブサイトへの掲載
②文化振興課、各まちづくりセンター、中央図書館での閲覧
- (2) 募集期間 令和3年12月15日（水）～令和4年 1月17日（月）
- (3) 意見提出方法 ウェブサイトの送信フォーム・電子メール・郵便・FAX
担当課への直接提出

2 意見募集結果

- (1) 意見提出者の数 1人
- (2) 提出された意見の数 3件
- (3) ウェブページアクセス件数 57件
- (4) 意見の反映状況
- 反映する（一部反映を含む） 件
 - 既に盛り込み済み 2件
 - 今後の参考にするもの 1件
 - 反映できないもの 件
 - その他 件

令和4年1月

富士市 市民部 文化振興課

「富士市文化推進基本計画（案）」の
パブリック・コメントに対する意見及び回答

反映結果の項目は、「1 反映する」、「2 既に盛り込み済み」、「3 今後の参考にするもの」、「4 反映できないもの」、「5 その他（案件とは無関係な意見等）」の5区分

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	<p>これまでの5年間の計画推進の評価、反省点を明確にして、これからの計画に反映して下さい。</p> <p>計画案作成の意図は理解できますが、評価、反省点が明確ではありません。各種団体などからは、どのようなフィードバックがあったのでしょうか？</p>	<p>これまでの取組についての評価や反省点については、文化連盟、文化振興財団、市展・市民文芸出品者や公募委員の方で構成する文化芸術懇話会の中で意見をいただいたほか、個別の団体からも直接事業の取り組みの中で、ご意見等をいただき、計画を策定しました。</p> <p>主なものとしては、「高齢化で団体の活動が縮小し活動の維持が難しくなっている」、「人と人の距離を感じる今だからこそ文化は大事である」「これまでと違う活動が見られるようになった」といったものがありました。</p>	2 既に盛り込み済み
2	<p>生活文化（食文化、習慣、慣習に関する文化等）継承・展開してゆく具体策を計画に織り込んで下さい。</p> <p>団塊の世代が終われば、この分野の文化は大きな危機となります。近所付き合いの疎遠化から、人から人への継承は期待できません。</p> <p>富士市内には、たくさんの生活文化があります。先人の文化を消滅すべきではないでしょう。</p>	<p>生活文化については、継承していく必要性を認識していますが、教育振興基本計画、まちづくり活動推進計画などの関連する他の個別計画と連携して推進することとしているため、本計画には具体策を織り込んではいません。</p> <p>生活文化の継承については、関連する個別計画の中で、学校行事や授業、まちづくりセンター講座等の中に織り込んでいますので、所管する部署と情報・意見交換を行い連携して取り組んでまいります。</p>	3 今後の参考にするもの
3	<p>交流できる場所を、提供（多くの場所を、安価で）する体制を構築して下さい。文芸、音楽、陶芸、絵画、染色、書道、華道、手芸、など。これらは基本的に個人的な活動に帰着しています。</p> <p>しかし、だからこそ、仲間、第三者との交流が大きな刺激、個人の活性化になっています。この分野に、スポーツ文化並みに、交流の場所を提供する支援サービス体制を構築して下さい。</p> <p>ロゼシアター、ホール、ギャラリーなど高価となり、以前に比べ、利用率は激減しているのではありませんか？使用されない公共施設は検討すべきです。</p>	<p>本市は、各小学校区に整備した26のまちづくりセンターから、大規模集客能力を有するロゼシアターまで充実した文化・教育施設を整えています。</p> <p>計画の中で、施設の運営について、市民の皆様が快適に利用することができるよう、市民団体や指定管理者と情報・意見交換を行い、文化・教育施設の運営に努めると位置付けておりますので、いただいたご意見についても検討してまいります。</p>	2 既に盛り込み済み